



— 第13回 —

PCIT-Japan CARE-Japan 合同研究会

2023年12月3日（日） 9:30～16:00 オンライン開催

合同研究会・プレコンGRESとのオンデマンド配信時期は2023年12月4日～2024年1月14日です

＜大会テーマ＞

親子のきずなを深めるために
～ PCITとCAREが児童福祉領域でできること～



プログラム①

9:30~	開会の辞 加茂 登志子（日本PCIT研修センター）
9:40~10:30	活動報告 PCIT-Japan 代表 加茂 登志子 （若松町こころとひふのクリニック/日本PCIT研修センター） CARE-Japan 代表 福丸 由佳（白梅学園大学） 地域研究会(広島) 梶梅 あい子（あおさきこども心療所）
10:30~11:30	基調講演 座長 加茂 登志子（日本PCIT研修センター） 演者 上鹿渡 和宏 先生（早稲田大学人間科学学術院教授/社会的養育研究所所長） 『これからの社会的養育 ～「子どものために」で終わらせず「子どもとともに」へつなげる～』
11:30~12:30	昼休み



基調講演

これからの社会的養育～「子どものために」で終わらせず
「子どもとともに」へつなげる～

上鹿渡 和宏 先生

早稲田大学人間科学学術院教授
社会的養育研究所所長

児童精神科医、博士（福祉社会学）。早稲田大学人間科学学術院教授。同社会的養育研究所所長。佐久総合病院、静岡県立こころの医療センター、京都市児童福祉センター、信州大学医学部、長野大学社会福祉学部等を経て現職。厚生労働省「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」構成員。乳児院の多機能化・機能転換や英国のフォスタリングチェンジ・プログラム（里親研修）の日本への導入、フォスタリング機関や都道府県社会的養育推進計画の実践展開等に携わる。2023年度よりこども家庭審議会委員、社会的養育・家庭支援部会委員、児童虐待防止対策部会委員。

プログラム②

12:30~14:00

研究発表 座長 館農 幸恵（ときわ病院 ときわこども発達センター）

1) 日本語版「場面緘黙症のための親子相互交流療法
(PCIT-SM)」の開発

細金奈奈（愛育研究所・愛育クリニック）

2) 日本における「教員と子どもの相互交流トレーニング
(TCIT)」の実践

加藤 郁子（さいたま市子ども家庭総合センター）

3) 母子生活支援施設における
インレジデンス・グループ親子相互交流療法（G-PCIT）

古川心（神戸親和大学）

プログラム③

14:10~	大会シンポジウム「PCITとCAREが児童相談所でできること」 座長 福丸 由佳（白梅学園大学） 指定討論 小平 かやの（東京都児童相談センター） シンポジスト ・加藤 郁子（さいたま市子ども家庭総合センター） ・廣瀬 三恵子（函館中央病院、函館児童相談所） ・安常 香（広島県西部こども家庭センター） ・岩井 幸祐（栃木県中央児童相談所）
16:00	閉会の辞 福丸 由佳（白梅学園大学）